

2026年3月期決算 参考資料

三浦工業株式会社

熱・水・環境のベストパートナー

MiURA

ハイライト

1. 売上収益

- 過去最高売上収益を達成(前同比6.9%増)

2. 利益

- トータルソリューション戦略が順調に進展し、過去最高益を達成(前同比22.1%増)

3. 配当

- 増配(年間配当は前期61円に対し72円となった)

1. 2026年3月期 業績

概要

増収増益、売上及び各利益で過去最高を達成

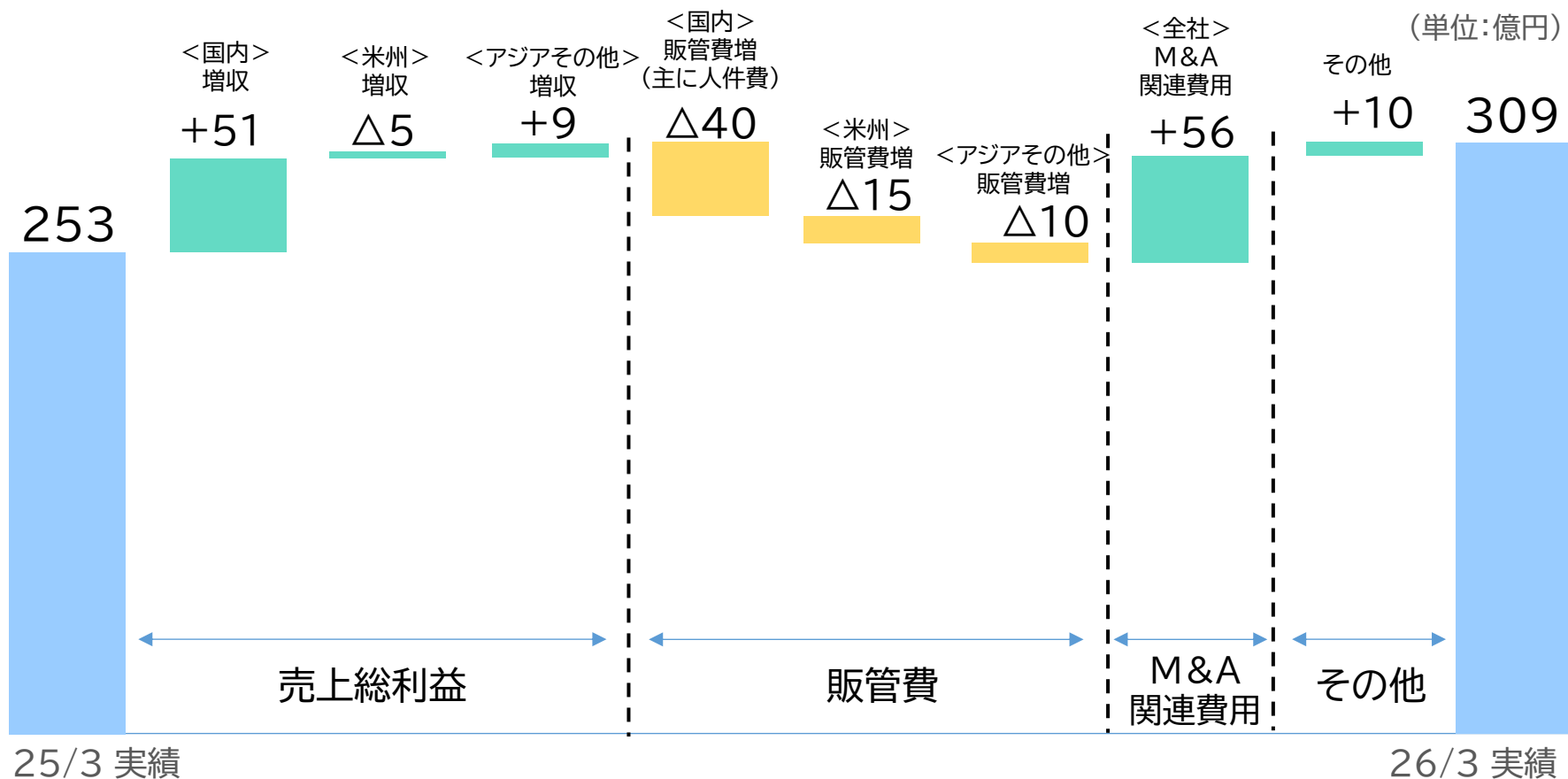
<IFRS>	単位	2025年3月期 累計	2026年3月期 累計	前同比	前同比増減率	【参考】 為替影響を除く 増減率
売上収益	億円	2,513	2,687	+173	+6.9%	+7.4%
営業利益	億円	253	309	+55	+22.1%	+22.8%
営業利益率	%	10.1	11.5	+1.4	—	—
税引前利益	億円	292	378	+86	+29.6%	—
親会社の所有者に 帰属する当期利益	億円	228	276	+47	+20.7%	—
1株当たり当期利益	円	202	238	+36	+17.8%	—
配当	円	61	72	+11	+18.0%	—

(注)2026年3月期において、株式会社ダイキンアプライドシステムの持分法適用会社化に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年3月期に係る各数値については暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

為替換算影響額

売上収益	△11.6
営業利益	△1.8

営業利益増減要因(前同比)



- ・日本国内事業は、人件費等が増加したが、トータルソリューションの深化により増益。
- ・米州事業は、原材料価格の上昇、販売構成の変化や人件費の増加もあり減益。
- ・アジアその他事業は、増収だったものの、人件費等の増加があり減益。

セグメント別（新セグメント）（25/3…2025年3月期累計、26/3…2026年3月期累計）

単位:億円

単位:億円

単位:%

	売上収益				セグメント利益 (セグメント利益率%)				為替差損益の影響額		
	25/3	26/3	前同比	累計 計画	25/3	26/3	前同比	累計 計画	25/3	26/3	前同比
日本国内	1,288	1,388	+99	1,370	199 (15.5)	215 (15.5)	+15 (0)	203	△1.2	△0.1	+1.1%
米州	861	912	+50	910	119 (13.8)	103 (11.3)	△15 (△2.5)	111	0.2	0.3	+0.1
アジアその他	363	386	+22	385	41 (11.4)	38 (10.0)	△2 (△1.4)	36	1.6	△0.9	△2.5
調整額	—	—	—	—	△5 (—)	△2 (—)	+2 (—)	—	—	—	—
合計	2,513	2,687	+173	2,665	355 (14.1)	354 (13.2)	0 (△0.9)	306	0.6	△0.7	△1.3

概要

- ・日本国内事業は、ボイラ及び関連機器、アクア機器、船用機器で販売が堅調に推移したことやメンテナンス活動で有償保守契約件数の増加・省エネ活動の推進により、売上伸長
- ・米州事業は、Cleaver-Brooks社の業績反映期間の影響(前年度10.5ヶ月)により売上増加
- ・アジアその他事業は、独・CERTUSS社の業績反映期間の影響(前年度11ヶ月)や、その他の国や地域でボイラ販売が堅調に推移したことにより売上増加

セグメント別（【参考】旧セグメント）（25/3…2025年3月期累計、26/3…2026年3月期累計）

	単位:億円			単位:億円			単位:%		
	売上収益			セグメント利益			セグメント利益率		
	25/3	26/3	前同比	25/3	26/3	前同比	25/3	26/3	前同比
国内機器販売	841	902	+61	74	87	+12	8.9%	9.7%	+0.8%
国内メンテナンス	446	484	+38	123	125	+1	27.8%	25.9%	△1.9%
海外機器販売	305	321	+15	21	28	+7	6.9%	8.9%	+2.0%
海外メンテナンス	126	137	+11	16	18	+2	13.1%	13.7%	+0.6%
C-B・CERTUSS	792	839	+47	119	95	△23	15.1%	11.4%	△3.6%
その他	0	0	0	0	0	0	—	—	—
調整額	—	—	—	△1	△2	△1	—	—	—
合計	2,513	2,687	+173	355	355	0	14.2	13.0	△1.1

(注) 1. 「その他」の区分は、当社グループが行っている保険代理業等の報告セグメントに含まれない事業セグメントです。
 2. セグメント利益の「調整額」には、セグメント間の内部取引消去が含まれております。

国内事業別の売上収益

単位:億円

	2025年3月期 累計	2026年3月期 累計	前同比増減率
ボイラ	750	798	+6.4%
アクア(水処理機器)	109	127	+16.1%
船用	132	152	+15.5%
食機・メディカル	166	166	0%
その他 (ランドリー・特機・新事業・環境等)	132	145	+9.8%
合計	1,289	1,388	+7.7%

国内事業別の概況

ボイラ事業

事業環境

ボイラ台数は産業規模の縮小に合わせて緩やかに減少しているが、蒸発量ベースでは横ばいとなっている。カーボンニュートラル対応への期待は高まっている。

4Qの実績

高圧大容量の蒸気ボイラ販売も増加し、工事売上等も増加した。

今後の取組み

補助金事業の活用、シェアの低い業界への展開、高効率ボイラへの更新提案など、引き続き進めていく。カーボンニュートラルに向けて、水素ボイラや電気ボイラなど全方位での開発を進めていく。

アクア(水処理機器)事業

事業環境

水処理業界では、主要各社がそれぞれの強みを生かした重点分野への戦略分化を進めており、当社は産業用途全般にわたる総合的な水処理ソリューションの提供を強化し、多様な業種で純水・排水処理案件を獲得。

4Qの実績

EPC契約を伴う大型プラント案件の売上増加、エンジニアリング・工事の売上も増加。純水装置等の機器販売も増加。
*EPC:「Engineering(設計)、Procurement(調達)、Construction(建設)」を一括して請負う方式

今後の取組み

水のトータルソリューション提案や、ミウラ環境エンジニアリングと連携した排水分野の強化を進める。省人化などの複合提案も行う。

舶用事業

事業環境

国内外ともに2029年までの新造船契約が進んでおり、2030年分の船台契約も進む見込みである。環境対応においてはメタノール燃料からLNGへ回帰している。

4Qの実績

特に中国向けの舶用ボイラ等の売上が大きく増加した。

今後の取組み

中国向けの販売拡大に向けた活動を継続。グループ会社製品、通信用i-MITEC、環境対応製品などの提案数を増やす。

食機・メディカル事業

事業環境

人財不足等を背景に、自動化や省力化の高付加価値ソリューション提案が求められる。

4Qの実績

食機は、前年の大型案件の反動で部品及び機器の売上が減少し、前同比売上減少。メディカル機器については、高圧蒸気滅菌器の売上が増加し、前同比売上増加。

今後の取組み

食機は、自動化を含めたトータルソリューション提案を進める。メディカル機器は、機器とDXを合わせた提案を進める。また、洗浄器について、品質や効率面でニーズにあう産業分野に対しても提案していく。

その他事業

(ランドリー・特機・新事業開発・環境等)

4Qの実績

【特機】過熱蒸気発生装置(発電事業者向け)や廃熱ボイラ(下水処理場向け)の販売があった。

今後の取組み

【特機】コージェネレーション以外の商品も押し進め、事業の幅を広げていく。

【その他】省エネに向けた提案を推進。

海外地域別の売上収益

単位:億円

	2025年3月期 累計	2026年3月期 累計	前同比増減率
米州	115	128	+11.3%
C-B	743	778	+4.7%
韓国	119	117	△1.7%
中国	113	118	+4.4%
その他アジア	77	87	+13.0%
欧州	57	71	+24.6%
海外合計	1,224	1,299	+6.1%

海外地域別の概況

米州事業(C-B社除く)

事業環境

各国で状況は異なるが、昨年の米国大統領選挙やその後の関税政策の影響を懸念した景気不透明感から設備投資は様子見。

4Qの実績

米国法人は、附帯品売上増、顧客増に伴うメンテ保守や部品の売上増により増収増益。ブラジル法人は、販売台数やメンテ部品売上増により増収増益。

今後の取組み

各国各法人においてメンテ契約率、通信率、薬品取引率の向上と水処理管理品質向上を事業基盤強化として取り組む。

C-B社

事業環境

各国で状況は異なるが、昨年の米国大統領選挙やその後の関税政策の影響を懸念した景気不透明感から設備投資は様子見。C-B社事業もコスト面でトランプ関税の影響を受けている。

4Qの実績

業績管理期間が伸びたことにより売上は増加しているが、昨年度の受注減少の影響もあり、計画比では進捗が弱い。関税などの影響もあり、利益減少。

今後の取組み

現状の成長取組みを維持するとともに、中長期視点でのシナジー創出に取り組んでいく。

韓国	事業環境	景気の後退感はあるものの、財閥や国家先端産業(半導体・バイオ・二次電池)向けで引き続きの需要が見込まれる。
	4Qの実績	販売台数増加や関連工事等の売上増加により、増収増益。メンテについては、入替台数増や薬品・保守契約が順調に推移したことで、現地通貨ベースで増収増益となった。
	今後の取組み	財閥向け、国家先端産業向けの先行営業を進める。トータルソリューション提案も展開。
中国	事業環境	景気後退により需要は減少。また、工場稼働率低下により蒸気使用量も減少している。環境対応は現状維持だが、LNGからバイオマスへの変更が増加している。
	4Qの実績	販売台数は増加となったが、販売単価減少などの影響により減収減益。
	今後の取組み	省エネ提案を進めるとともに、リースなど新しい販売スタイルで拡販していく。現地需要に応えるボイラ開発を進めていく。

アジア	事業環境	政局等の外部要因に左右される部分はあるが、各国の産業成長に伴い需要の増加が見込まれる。
	4Qの実績	ボイラ販売が堅調に推移、メンテナンスも順調に伸びている。
	今後の取組み	ユーザーに近い立場でのビジネスを継続するとともに、中長期を見据えた投資を継続する。
欧州	事業環境	ドイツ経済は足元での低迷により、ボイラ市場も減速。トルコ経済はインフレにより、先行き不透明。
	4Qの実績	CERTUSS社については業績管理期間が伸びたことにより売上は増加している。輸出案件は増加している。トルコはボイラ販売台数が増加し、メンテ売上についても好調。
	今後の取組み	CERTUSS社について、国内外に向けてボイラ販売を推進していく。トルコでは、販売地域を拡大してボイラ販売を推進していく。

【参考】地域別売上収益推移(為替影響を除く)

単位:億円

	2025年3月期 累計	2026年3月期 累計	前同比成長率	【参考】 為替換算影響を除いた 前同比成長率
日本	1,289	1,388	+7.7%	+7.7%
米州	115	128	+11.3%	+12.3%
C-B	743	778	+4.7%	+6.0%
韓国	119	117	△1.7%	+2.6%
中国	113	118	+4.4%	+4.4%
その他 アジア	77	87	+13.0%	+13.0%
欧州	57	71	+24.6%	+20.3%
海外合計	1,224	1,299	+6.1%	+7.2%
合計	2,513	2,687	+6.9%	+7.5%

- (注) 1. 為替換算影響を除いた前同比成長率の算出には、当期の為替レートを用いています。
2. C-Bおよび欧州は、Cleaver-Brooks社およびCERTUSS社の業績反映期間の影響を含みます。

2. Appendix

- 1.セグメント別売上収益推移（新セグメント）
- 2.セグメント別利益推移（新セグメント）
- 3.セグメント別売上収益推移（【参考】旧セグメント）
- 4.セグメント別利益推移（【参考】旧セグメント）
- 5.(国内)事業別売上収益推移
- 6.地域別売上収益推移
- 7.為替レート推移
- 8.キャッシュ・フロー推移

1.セグメント別売上収益推移（新セグメント）

単位:億円

	2023年 3月期 累計	構成比	2024年 3月期 累計	構成比	2025年 3月期 累計	構成比	2026年 3月期 累計	構成比
日本国内	1,222	77%	1,188	75%	1,288	51%	1,388	52%
米州	102	7%	114	7%	861	34%	912	34%
アジアその他	258	16%	293	18%	363	15%	386	14%
合計	1,583	100%	1,596	100%	2,513	100%	2,687	100%

2.セグメント別利益推移（新セグメント）

単位:億円

	2023年 3月期 累計	構成比	2024年 3月期 累計	構成比	2025年 3月期 累計	構成比	2026年 3月期 累計	構成比
日本国内 (セグメント利益率)	184 (15.1%)	82%	198 (16.7%)	83%	199 (15.5%)	56%	215 (15.5%)	60%
米州 (セグメント利益率)	5 (5.1%)	2%	7 (6.7%)	3%	119 (13.8%)	33%	103 (11.3%)	29%
アジアその他 (セグメント利益率)	36 (14.2%)	16%	33 (11.5%)	14%	41 (11.4%)	11%	38 (10.0%)	11%
計 (セグメント利益率)	226 (14.3%)	100%	239 (15.0%)	100%	360 (14.3%)	100%	357 (13.3%)	100%
調整額	0	—	△1	—	△5	—	△2	—
合計 (セグメント利益率)	226 (14.3%)	—	237 (14.9%)	—	355 (14.1%)	—	354 (13.2%)	—

(注) セグメント利益の調整額には、セグメント間の内部取引消去が含まれております。

3.セグメント別売上収益推移（【参考】旧セグメント）

単位:億円

	2023年 3月期 累計	構成比	2024年 3月期 累計	構成比	2025年 3月期 累計	構成比	2026年 3月期 累計	構成比
国内機器販売	836	53%	773	48%	841	34%	902	34%
国内メンテナンス	386	24%	414	26%	446	18%	484	18%
海外機器販売	265	17%	296	19%	305	12%	321	12%
海外メンテナンス	95	6%	111	7%	126	5%	137	5%
C-B・CERTUSS	—	—	—	—	792	31%	839	31%
合計	1,583	100%	1,596	100%	2,513	100%	2,686	100%

4.セグメント別利益推移(【参考】旧セグメント)

単位:億円

	2023年 3月期 累計	構成比	2024年 3月期 累計	構成比	2025年 3月期 累計	構成比	2026年 3月期 累計	構成比
国内機器販売 (セグメント利益率)	75 (9.0%)	34%	82 (10.7%)	34%	74 (8.9%)	21%	87 (9.7%)	25%
国内メンテナンス (セグメント利益率)	101 (26.3%)	46%	113 (27.5%)	48%	123 (27.8%)	35%	125 (25.9%)	35%
海外機器販売 (セグメント利益率)	29 (11.2%)	14%	28 (9.5%)	12%	21 (6.9%)	6%	28 (8.9%)	8%
海外メンテナンス (セグメント利益率)	13 (14.6%)	6%	14 (12.9%)	6%	16 (13.1%)	5%	18 (13.7%)	5%
C-B・CERTUSS (セグメント利益率)	—	—	—	—	119 (15.1%)	33%	95 (11.4%)	27%
合計 (セグメント利益率)	219 (13.8%)	100%	239 (14.9%)	100%	355 (14.2%)	100%	356 (13.0%)	100%

(注) 2024年3月期累計より営業利益にかわりセグメント利益での表示に変更しております。
 なお、この変更該当する当頁の合計欄は、「その他」の区分と調整額を含まない、セグメント利益の計です。

5.(国内)事業別売上収益推移

単位:億円

	2024年 3月期 累計	構成比	2025年 3月期 累計	構成比	2026年 3月期 累計	構成比
ボイラ	724	61%	750	58%	798	58%
アクア (水処理機器)	95	8%	109	9%	127	9%
船用	112	10%	132	10%	152	11%
食機・ メディカル	136	11%	166	13%	166	12%
その他 (ランドリー・特機・ 新事業・環境等)	121	10%	132	10%	145	10%
合計	1,188	100%	1,289	100%	1,388	100%

6.地域別売上収益推移

単位:億円

	2024年 3月期 累計	構成比	2025年 3月期 累計	構成比	2026年 3月期 累計	構成比
日本	1,188	74	1,289	51	1,388	52
米州	114	7	115	5	128	5
C-B	—	—	743	30	778	29
韓国	113	7	119	5	117	4
中国	111	7	113	4	118	4
その他アジア	70	5	77	3	87	3
欧州	1	0	57	2	71	3
海外合計	409	26	1,224	49	1,299	48
合計	1,597	100	2,513	100	2,687	100

7.為替レート推移

平均レート

通貨	2023年3月期 累計	2024年3月期 累計	2025年3月期 累計	2026年3月期 累計	前同比増減率
USD	135.50	144.59	152.62	150.67	△1.3%
CAD	102.47	107.22	109.79	109.03	△0.7%
ユーロ	—	—	163.88	174.64	6.6%
元	19.75	20.13	21.11	21.22	0.5%
NTD	4.46	4.60	4.70	4.89	4.0%
WON(100W)	10.37	10.97	10.98	10.59	△3.6%
ルピア(100Rp)	0.90	0.95	0.96	0.91	△5.2%
ブラジルリアル	26.28	29.33	27.29	27.74	1.6%
メキシコペソ	6.90	8.35	8.02	8.16	1.7%
タイバーツ	3.84	4.11	4.38	4.67	6.6%

8. キャッシュ・フロー推移

単位:百万円

	2022年3月期 累計	2023年3月期 累計	2024年3月期 累計	2025年3月期 累計	2026年3月期 累計
営業活動CF	19,442	17,844	20,810	34,119	42,445
投資活動CF	△14,481	△12,535	△1,270	△134,627	△7,232
フリーCF	4,961	5,309	19,540	△100,508	35,213
財務活動CF	△3,263	△13,766	△15,403	119,703	△24,245

熱・水・環境のベストパートナー

MiURA

お問い合わせ先

三浦工業株式会社 そうごう 創合企画部

TEL 089-979-7045

FAX 089-979-7011

URL <https://www.miuraz.co.jp/>